

歴史的眺望

大樹寺から岡崎城を望む

知る

守る

愛知県・未来型まちづくり推進モデル事業

『歴史的眺望を「知る・守る」ための景観意識向上実験』

写真コンテストも実施

光ビスタライン

1/31(土)★2/1(日)

PM 5:30 ~ PM 9:00

試験点灯 前日30日実施 雨天決行





愛知県

岡崎

水と緑が輝き、
歴史と文化の薫る
風格あるまちを目指して



人口 **376,823** 人(2009.2.1)
面積 **387.24** km²与名古屋市



知る



約370年前

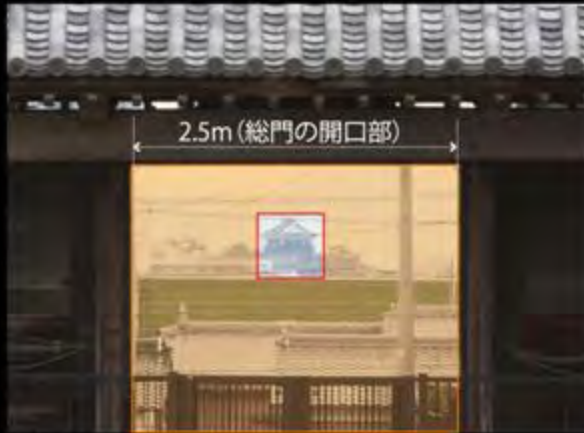
約3キロ



中心市街地にある岡崎城から約3キロメートル離れた大樹寺の三門越しに見える岡崎城は、まるで額の中の絵のようで、この歴史的眺望は岡崎市を代表する景観資産として「ビスタライン」と呼ばれています。これは、徳川三代将軍家光が、家康の17回忌を機に、祖父生誕の地を望めるようにとの想いを守るため、徳川家の祖先、松平氏の菩提寺である大樹寺の本堂から三門、総門（現在は大樹寺小学校南門）を通して、その真ん中に岡崎城を望むように、寛永18（1641）年に伽藍を整備したことに由来しています。

ビスタライン

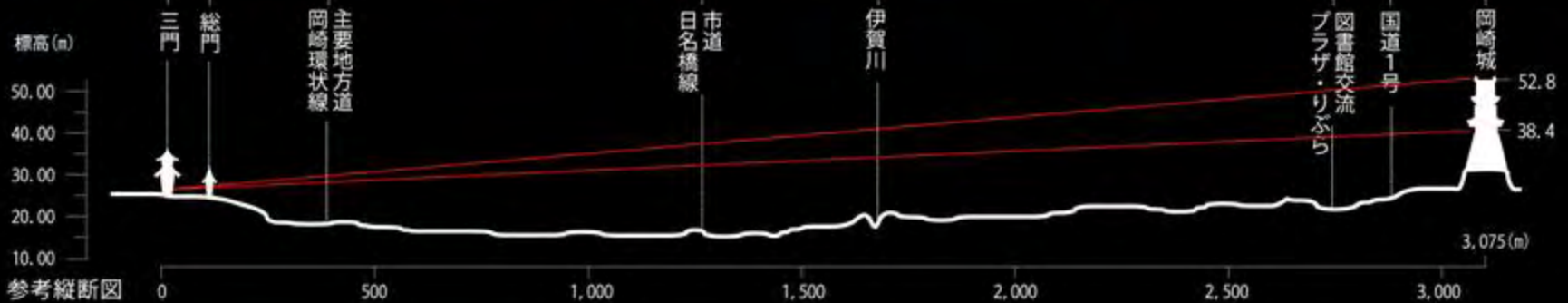
ビスタラインの景観構造とその実態



視点場の高さ:地上1.5m



岡崎城天守閣から大樹寺方向の眺望

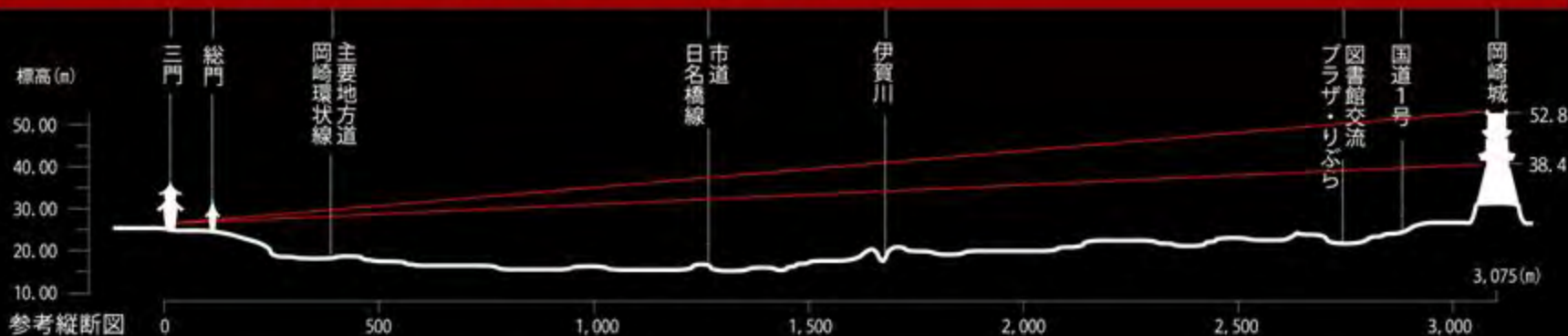



ビスタラインの景観構造とその実態

- 市街化が進んだ現代においても
- 地域にお住まいの方々のご理解とご協力により
- 大切に守られています

知る


- 現在、法や条例に基づく規制はありません
- 眺望を遮る、たった1棟の建物等の建設で
- 歴史的眺望の景観は失われてしまいます
(保全することができません)



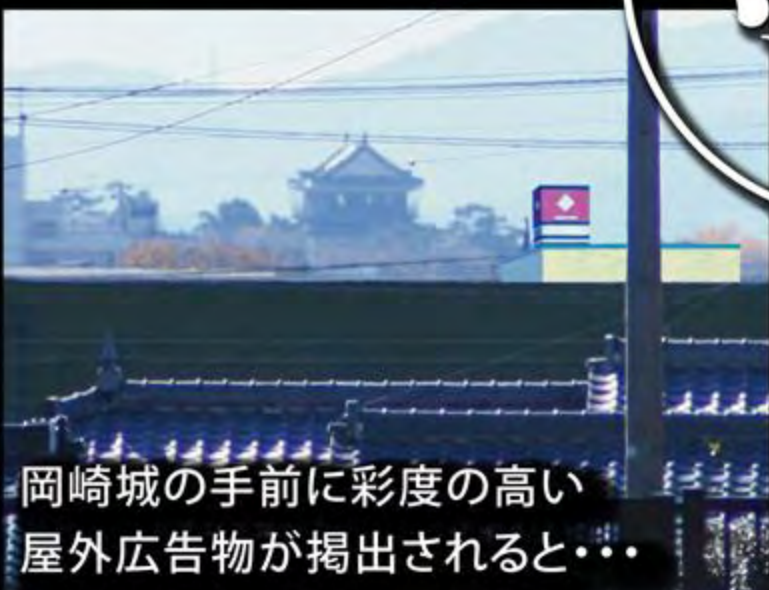


眺望を遮る建物が
ビスタライン上に建てられると・・・

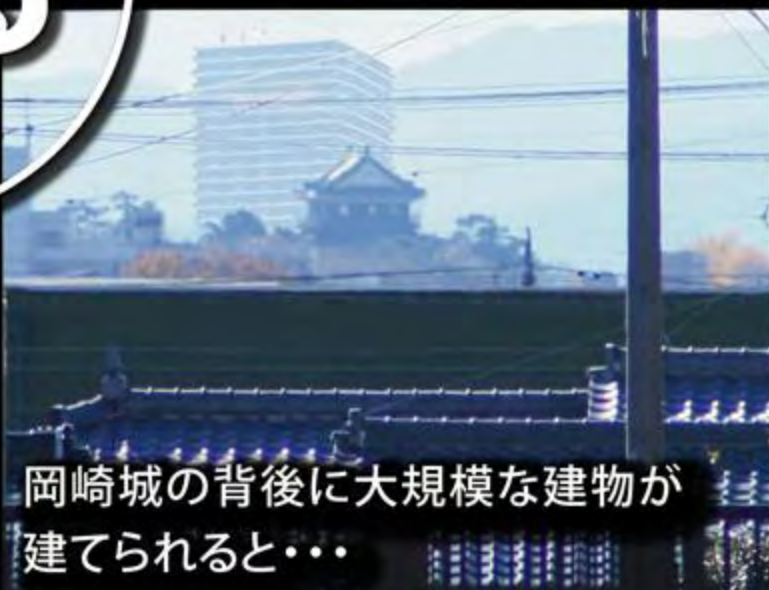
守る



岡崎城との間に大規模な
建物が建てられると・・・



岡崎城の手前に彩度の高い
屋外広告物が掲出されると・・・



岡崎城の背後に大規模な建物が
建てられると・・・

関心

親しむ
気づく

理解

知る

行動

実践する
守る

景観計画

- 景観法に基づく景観計画を平成 22 年度に策定
- これまで守られてきた歴史的眺望（ビスタライン）は市民共通の財産
- 後世に残すべく、本計画において位置づけ
- 条例等により有効な保全施策を検討すべき
- その前段として、まずは、市民参加の裾野を広げる
- 「誰もが知っている景観」、「後世に継承すべく守らなければならない景観」という想いを多くの人々と分かち合えるような、きっかけづくり（啓発）が必要
- 「知る機会」の提供
- 景観保全への意識向上促進

背景と目的 きっかけづくり



知る

ビスタラインの空間領域を視覚的に体感していただくとともに、多くの人々に知ってもらう機会を提供します。

守る

市民合意を得ながら、法的根拠を持つ計画や条例等に基づく規制により実効性ある眺望景観の保全を目指します。

市民共通の財産

岡崎城

両日とも入場料無料
昼間は家康館も無料

- パネル展示・望遠鏡によるガイド 両日9:00-17:00
- 入場時間夜間延長 両日17:00-21:00
- 夜間入場者に味噌キャラメルをプレゼント
- 小学校低学年対象に甲冑試着体験 両日 10:00-16:00



大樹寺

総門（小学校南門）を
通すサーチライト照射

- 点灯式・観覧会（学校関係者のみ）31日17:00-18:30
- 一般公開観覧会 31日18:30-21:00 1日17:30-21:00
- 三門ライトアップ 両日17:30-21:00



図書館交流プラザ・りぶら

- 景観ワークショップ 31日9:00-13:00
- おかざきラウンド・テーブル（パネル展示とも）
「おかざき風景まちづくり」 31日14:00-17:00
- 光ビスタライン観覧会 31日17:10～



大樹寺 総門（小学校南門）を
通すサーチライト照射

2,000人

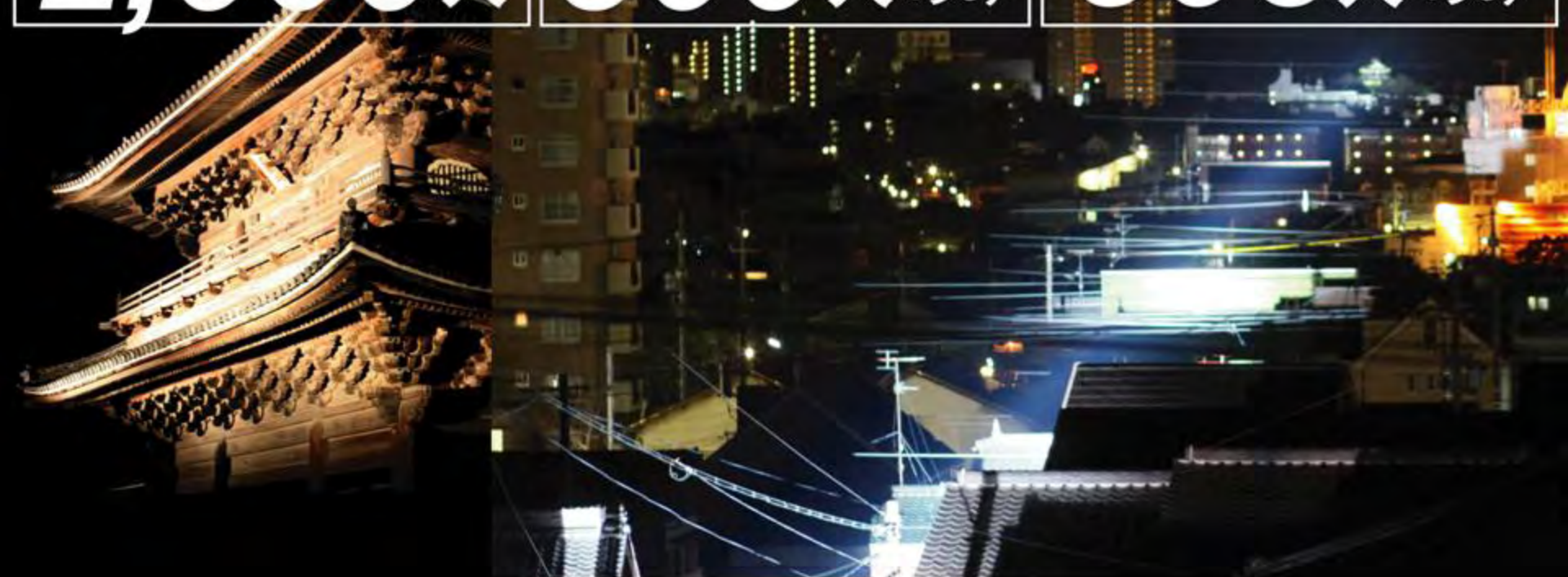
図書館交流プラザ・りぶら

300人 31日
のみ

岡崎城 両日とも入場料無料
昼間は家康館も無料

803人 夜間
のみ

3,103



1,010人に聞きました。

知る

守る

Q1 大樹寺から岡崎城を望む歴史的眺望（ビスタライン）について、次のなかからひとつだけ選んでください。

実際に大樹寺から
見たことがある

(見たことはないが)
知っていた

今回の光ビスタライン
で初めて知った

全体

55.0%

17.8%

26.4%

<20歳
20歳≦
30歳≦
40歳≦
50歳≦
60歳≦
70歳≦



1,010人に聞きました。

知る

守る

Q2 光ビスタラインをご覧になった印象・ご感想について、
あてはまるものをいくつか選んでください。

美しかった

貴重だと感じた

守りたいと思った

存在を光で体感できた

おおよその位置や高さが分かった

1,010人に聞きました。

知る

守る

Q3

光ビスタラインは、ビスタラインを多くの皆さまに知っていただくために実施しました。今後の取り組みとして期待するものをいくつかも選んでください。

多くの方々に知ってもらおう活動

景観を守るためのルールづくり

観光資源として活用

市民と行政が考える機会の提供

1,010人に聞きました。

知る 守る

ビスタラインにふれるという1つのきっかけから、歴史・景観について考える機会が生まれるのでぜひ今後も行つて欲しいと思う。また、子供達にも自分の住んでいる街を大切にしていこうという意識が芽生えてくれると嬉しいです。

岡崎市に住んでビスタラインのあることに感動しています。

とても良いイベントだと思います。関東から岡崎に来て数年経ちますが歴史をとっても大切にしたい街だと思えます。いろいろ知ることとどんな岡崎の街を好きになっています。これからもこういったイベントを開催してください。

ビスタラインに限らず貴重な景観はきちんと法律で守つていくべきだと思います。

人の善意で景観が守られているのは、とてもいいことだが、事が起きる前に条例で守っておいた方がいい。

市としての法律規制がないということを知りませんでした。ビスタラインは守つていかなければならないと改めて感じました。

歴史的眺望と観光資源の活用で観光客の誘致・増加が市の発展に深く関係があり行政と市民の認識関心が大切であり光ビスタラインを一つの策として関心を持って期待しています。

このような夢のあるものをもっと多くの人に知っていただくとともに景観の向上に活用したい。

あの光が何を表しているのかを知る意義は単なる景観眺望だけでなく岡崎市の生い立ちや歴史を知る上で市民にとっては大切な意義を持つものだと思う。

壊す事は一時で出来ませんが郷土の歴史とともに守つていく事が重要であると思えます。

周りが明るいので、光が見えにくいのが残念でした。次回は街全体が協力をし、何分間か灯りを消すなどしてラインが通るのを見れると素敵だと思います。

ルール作りが重要だと思います。今回この地域以外の方たちはビスタラインの言葉すら知らない人が多いと知り岡崎市民として考えていくことではと思いました。

景観法により どう魅力ある まちづくりを 進めるか



愛着や誇りを持つ



地域資源を活かし

